

教育シンポジウム

次期学習指導要領はどうなる？

趣旨説明

2026年度日本数学会年会（東京理科大学, 2026.03.25）

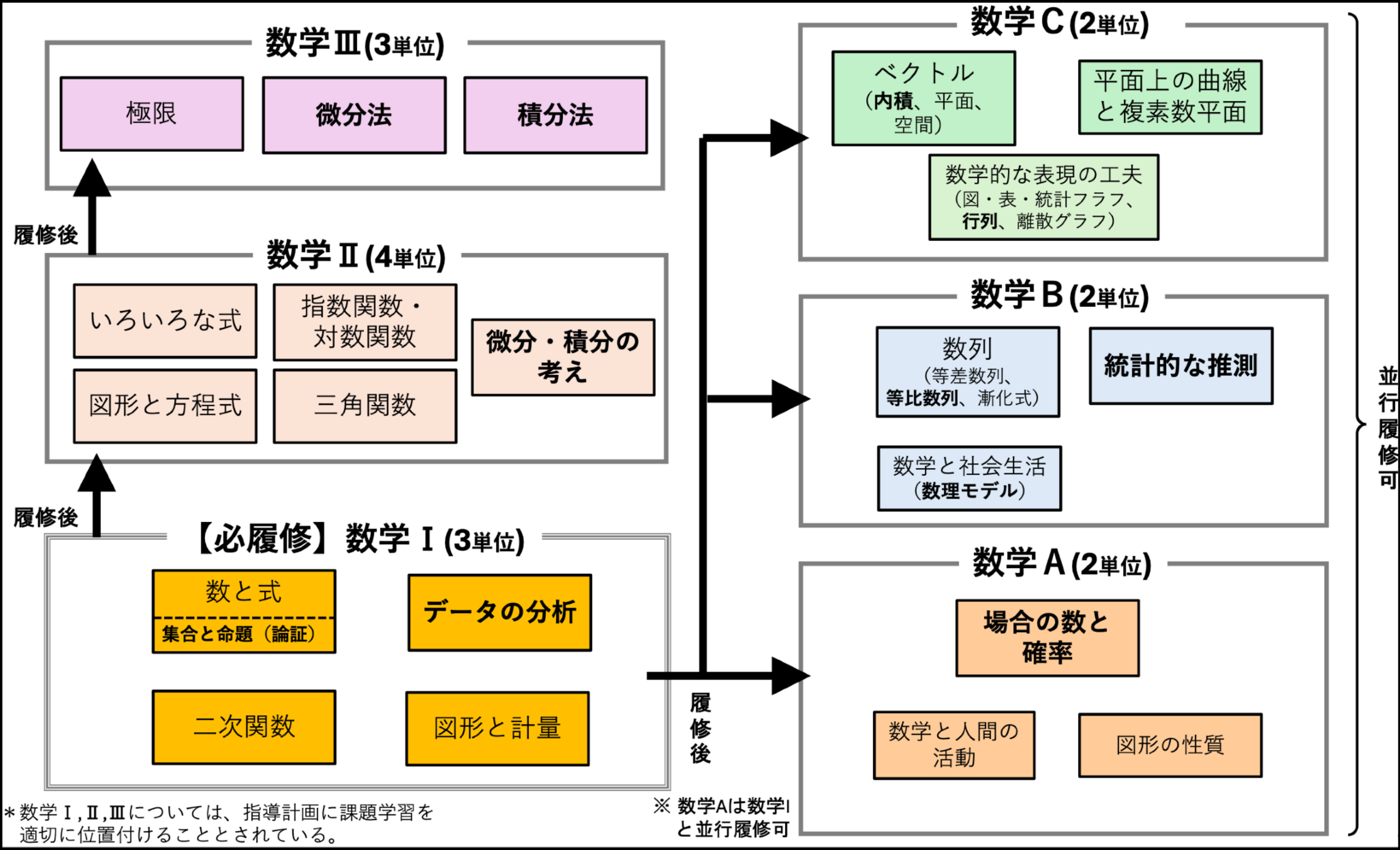
学習指導要領改訂と教育シンポジウム

- 2003.3 「新指導要領と大学入試」
- 2008.3 <教育委員会公開学習会> 「次期学習指導要領はどうなる？」
- 2009.3 「高等学校の次期学習指導要領」(他1件)
- 2015.9 「高等学校新課程と大学基礎教育を考える」
- 2016.9 「次期学習指導要領はどうなる？」
- 2018.9 「次期学習指導要領から数学教育を考える」
- 2025.9 「変わりゆく数学教育-学習指導要領の改訂と大学数学教育のゆくえ-」

次期学習指導要領に向けた動き

- 2024年12月25日中央教育審議会諮問 https://www.mext.go.jp/b_menu/shingi/chukyo/chukyo0/toushin/mext_00003.html
- 初等中等教育における教育課程の基準等の在り方について（諮問のポイント：詳細版） https://www.mext.go.jp/content/20250327-mxt_kyoiku01-000039494_2.pdf
- 教育課程企画特別部会 https://www.mext.go.jp/b_menu/shingi/chukyo/chukyo3/101/index.html
- 中央教育審議会 初等中等教育分科会 教育課程部会 算数・数学ワーキンググループ https://www.mext.go.jp/b_menu/shingi/chukyo/chukyo3/110/index.html

現行の高等学校数学の学習指導要領



(算数・数学WG(第4回)資料より)

数学Ⅲ（選択履修）

極限

微分法

積分法

数学Ⅱ（選択履修）

いろいろな式

指数関数・
対数関数

微分・積分の
考え

図形と方程式

三角関数

②数学Ⅰ（必修）の改善を図ってはどうか

数学ガイ
ダンス(仮)

(数学の全体像、
社会や職業との関係、
微分積分の素地等)

※ 過度な負担を避け
る観点も含め、国が
分かりやすい動画を
作成することも検討

数と式

集合と命題（論証）

データの分析

二次関数

図形と計量

社会を読み
解く数学(仮)

(数理モデルを含む)

- ※ ①で該当する内容を選択履修する場合は相当分を減単可能としてはどうか
- ※ 数学Aの履修率が87%であることも踏まえつつ、過度な負担とならない範囲で学習内容の検討が必要

①ABCの区分けをなくし、必要な学習内容の選択を容易化してはどうか

(選択履修)

平面上の曲線
と複素数平面

幾何
ベクトル

数列

行列

(数ベクトルを含む)

統計的な
推測

場合の数と
確率

※履修順序を想定した配置ではない

基礎的素養を抽出

(算数・数学WG(第4回)資料より)

- 高等学校について、現行の「数学A」「数学B」「数学C」を、生徒が必要な学習内容を選択履修しやすく、各学校が柔軟にカリキュラムを編成・実施できるよう、ABCの区分けをなくして内容を選択できる一つの新科目として整理

(教育課程企画特別部会（第14回）資料より)

講師紹介

- 中島啓氏
 - 東京大学教授
 - 初等中等教育分科会 教育課程部会
算数・数学ワーキンググループ委員
- 伊藤由佳理氏
 - 東京大学教授
 - 日本学術会議 数理科学委員会
数学教育分科会委員長

本日の資料および
アンケート回答は
こちらから



<https://tinyurl.com/469dvvbx>